



「市民に開かれた議会」の実現に向け、議会改革の一環として取り組んできたケーブルテレビによる議会中継が、平成27年12月定期会より開始されました。(詳細については7頁参照)

ぎのわん 第98号

市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話(098)893-4411(内337)
印刷文進印刷株式会社



所管事務調査で兵庫県たつの市にある「兵庫県立粒子線医療センター」を視察する経済建設常任委員会の委員(詳細は7頁参照)。

定例会の経過

12月	1日	議会運営委員会
	3日	会期の決定、案件上程、説明 議会改革に関する調査特別委員会
	7日	上程案件に対する質疑、委員会付託
	8日	各派代表者会議
	8~10日	各常任委員会議案審査
	14日	全員協議会、議会運営委員会
	14~18日	一般質問(質問者19名)
	18日	全員協議会、議会運営委員会
	21日	各常任委員会の審査報告及び表決 議会改革に関する調査特別委員会 議会運営委員会

野嵩保育所を平成28年4月から民営化へ
関連議案を賛成多数により可決!! (反対8名)

12月 定例会 会期
12月3日~12月21日

第394回宜野湾市議会定例会は、12月3日から12月21日までの19日間の会期で開かれました。

今定例会は、一般会計補正予算(第3号)や宜野湾市立野嵩保育所建物の処分について、個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定のほか、新設学校給食センター新築工事(建築)請負契約など、37件にわたる議案等が審議され、19名の議員による一般質問も行われました。

12月定例会 主な議案審議経過

宜野湾市立野嵩保育所 建物の処分等について 同意

議案の概要は、宜野湾市立野嵩保育所を平成二十八年四月一日付で社会福祉法人輝福社会へ移譲するための条例改正に加え、当該事業者へ同保育所建物を無償譲渡したいとの内容である。

議案審査では、野嵩保育所の民営化に係る行財政効果について質疑がなされ、これに対し、当該施設の運営経費の削減や土地の売却額など、五年前で約三億六千三百万円の財政効果に加え、残る二保育所に正職員を再配置することで保育サービスの充実が図れるとの説明がなされた。

また、建物を無償譲渡した理由について質疑がなされ、これに対し、築二十五年以上が経過しており、移譲先に対することや、民営化による財政効果、他市の事例等も鑑み、民営化推進検討委員会等において基本方針を策定したとの答弁がなされた。

本会議の表决に当たっては、反対及び賛成討論がそれぞれなされ、起立表决の結果、賛成



平成28年4月1日より民営化される野嵩保育所

成多数（賛成十七、反対八）で原案可決及び同意された。

◎反対討論の要旨

公の役割を民が担うことにより、民間保育所の負担増につながる。コスト削減を優先し、人員が削減されるなど、保育の質が低下する可能性がある。移管時に保育士等が大幅に入れかわることで、児童に不安を与えることになる。

深刻化する子供たちの虐待やネグレクトなどに対応するの

は公立保育所の責務である。

◎賛成討論の要旨

保育時間の延長や特別保育の充実が図られる。野嵩保育所の正職員を他の保育所へ再配置することで、保育の質の向上が図られる。民営化により毎年三千円余りの財政効果に加え、建物の建てかえに係る国等からの補助率も民営化したほうが高率となり、大幅な経費削減が図られる。

本会議の表决に当たっては、

さまざまな個人情報が個人番号と結びつけられ、個人情報の不正利用が防げなくなると

の反対討論に対し、番号法により特定個人情報の提供の制

限が定められており、府内連携、団体内他機関連携のため、条例を定める必要があるとの

賛成討論がなされ、起立表决の結果、賛成多数（賛成十七、反対八）で原案可決された。

個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について 可決

議案の概要は、行政手続に

おける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の公布により、個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関し、必要な事項を定め

るための条例制定である。

議案審査では、個人番号制度の開始により個人情報の一

元化に伴う情報管理のあり方

について質疑がなされ、それ

に対し、各機関で保持してい

る個人情報はこれまでどおり

各機関で管理を行い、行政機関同士の特定個人情報等の授受についても、各市民がその

授受状況を確認できるシステ

ムを構築するなど、むやみに特定個人情報が授受できない

ような制度設計がなされてい

るとの説明がなされた。

本会議の表决に当たっては、

さまざまな個人情報が個人番

号と結びつけられ、個人情報の不正利用が防げなくなると

の反対討論に対し、番号法により特定個人情報の提供の制

限が定められており、府内連

携、団体内他機関連携のため、

条例を定める必要があるとの

賛成討論がなされ、起立表决

の結果、賛成多数（賛成十七、

反対八）で原案可決された。

下水道施設における事故に 関する和解等について 同意

議案の概要は、平成二十七

年五月六日、市道大山七号において、女性が運転する軽自動車の底部が路面の沈下により突出したマンホール蓋に接触し破損、その後部座席に乗っていた男性が腰椎捻挫を負った件について、百十

八万三千五百八十五円の和解契約を締結したいとの内容で

ある。議案審査では、今後の事故防止策について質疑がなされ、シルバー人材センターへ下水道施設の危険箇所報告を依頼していることに加え、

事故防止策について質疑がなされ、シルバー人材センターへ下水道施設の危険箇所報告を依頼していることに加え、

平成二十六年度一般会計 歳入歳出決算の認定について 認定

決算の概要は、歳入総額四

百十三億二千三百三十六万五千五百十六円、歳出総額四百四億六千五百七十七万五千五百七十九円である。

議案審査では、実質単年度収支が約三億円の赤字となるほど財政が逼迫している中で、

福寿園建物等を無償譲渡した理由について質疑がなされ、

これに対し、市民サービスの向上や民間移譲により得られる財政効果額等を勘案した上で

財政効果額等を勘案した上で

まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に係る全員協議会 戰略（案）に係る全員協議会

全国で直面している地方創生・人口減少克服の課題に取り組むため、「まち・ひと・しごと創生法」第十条に基づき、

「宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するに当たり、議会への説明及び意見聴取のため全員協議会が二日間に渡り行われた。

議員からは、本市の将来人口推計が平成二十二年の国勢調査人口を基に作られており、現在の住民基本台帳人口と開きがあることから、より実数に近くなるよう推計すべきと

の意見を初め、同計画執行に係る国の予算措置についてや、今後の施策展開についても質疑がなされ、これに対し、いたい意見等も参考に計画策定に取り組んでまいりたいとの回答がなされた。

口推計が平成二十二年の国勢調査人口を基に作られており、現在の住民基本台帳人口と開きがあることから、より実数に近くなるよう推計すべきと

の意見を初め、同計画執行に

係る国の予算措置についてや、

今後の施策展開についても質

疑がなされ、これに対し、いたい意見等も参考に計画策定に取り組んでまいりたいとの回答がなされた。



市企画部と意見交換を行う市議会

○選舉管理委員長 喜瀬 昭夫	○消防長 浜川 秀雄	○建設部長 石原 昌恵	○指導部長 仲村 宗男	○市民経渉部長 伊波 保勝	○教育推進部長 島袋 清松	○健康推進部長 比嘉 直美	○企画部長 米須 清盛	○水道事業管理者 和田 敬悟	○総務部長 米須 良清	○副市長 松川 正則	○市長 佐喜眞 淳
-------------------	---------------	----------------	----------------	------------------	------------------	------------------	----------------	-------------------	----------------	---------------	--------------

答弁者

一般質問

今定例会は、19名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありましたが、紙面の都合上簡潔に掲載いたしました。詳しい内容は、市議会議録を市民図書館や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

非正規職員の
産休・育休制度の
導入について我如古区南側の宇地
泊川沿いの松くい虫
防除の進捗について婦人会活性化に
向けた取り組み
について

◎議員 地方公共団体に当該制度が整備されていないことは、極めて遺憾であり、早急な対応をお願いしたい。

◎議員 出産あるいは育児を機にやめた非正規職員の中には専門的な知識や経験を持つ方もおり、離職により現場も困ることがあったと思う。そこで、今後、非正規職員の産休・育休を認めていく考えがあるのか、お伺いしたい。

◎総務部長 非正規職員が仕事と育児の両立を図れるような環境づくりを他市町村の動向を見ながら検討してまいりたい。

◎議員 出産あるいは育児を機にやめた非正規職員の中には専門的な知識や経験を持つ方もおり、離職により現場も困ることがあったと思う。そこで、今後、非正規職員の産休・育休を認めていく考えがあるのか、お伺いしたい。

◎総務部長 臨時職員、嘱託職員とともに年次休暇や病気休暇、公民権行使のための休暇等が認められている。産前産後休暇や育児休暇については、臨時職員には両方とも認められないが、嘱託職員には、産前産後休暇が認められている。

◎議員 お伺いしたい。



松くい虫による被害拡大が心配されるリュウキュウマツ（国道330号沿い）

◎議員 当該地域における住民の多くが敷地内にリュウキュウマツを植えており、松くい虫による被害拡大を心配している。そこで、松くい虫

◎議員 周辺の一般住宅へ被害を拡大させないよう、ぜひとも一括処理をお願いしたい。

◎議員 松くい虫に当該地域における被害木調査を実施し、来年一月から三十六本全ての松を伐倒処理していく予定である。

◎議員 お伺いしたい。

婦人会活性化に
向けた取り組み
について

◎議員 地方公共団体に当該制度が整備されていないことは、極めて遺憾であり、早急な対応をお願いしたい。

◎議員 子どもの学習支援事業について
玉城健一郎議員

◎議員 中原区婦人会が市婦人連合会へ加入すると聞いた意見交換を行った。

◎議員 月にかけて、生涯学習課と社会教育委員で五自治会を訪問し、各地域における婦人会等の活動状況や活性化に向けた連携、支援のあり方について意見交換を行った。

◎議員 お伺いしたい。

が、いかがか。
◎教育部長 これまで市婦人連合会に加盟している婦人会は、七団体であったが、今年度から中原区婦人会が加盟し、八団体となっている。

◎議員 生涯学習の観点から、婦人会の存在についてどのように考えているのか。

◎議員 年一月から生活保護世帯の子どもを対象とした無料塾についてお伺いしたい。

◎福祉推進部長 平成二十四年一月から生活保護世帯の子どもを対象とした無料塾についてお伺いしたい。

◎議員 中原区婦人会が市婦人連合会へ加入すると聞いた意見交換を行った。

◎議員 月にかけて、生涯学習課と社会教育委員で五自治会を訪問し、各地域における婦人会等の活動状況や活性化に向けた連携、支援のあり方について意見交換を行った。

◎議員 お伺いしたい。

◎議員 婦人会は、地域に根差した社会活動へ積極的にかかわっており、地域づくり等において中心的な役割を担う大変重要な存在であると認識している。

◎議員 婦人会に対するバッターアップをぜひお願いしたい。

◎議員 供の高校受験対策を中心とした「通塾制度による学習支援事業」を行っており、高校合

◎議員 対象となる世帯を困窮世帯まで拡大したことにより、利用希望者はふえている現状である。また、平成二十六年度から、沖縄国際大学の学生ボランティアと協働した「ひとり親家庭学習支援ボランティア事業」もあわせて実施している状況である。

◎議員 玉城健一郎議員

◎議員 お伺いしたい。

◎議員 お伺いしたい。

◎議員 貧困の連鎖は将来的な負担を大きくするものであり、世帯の所得状況の影響で子供が学校に進学できなくなってしまうような状況は断ち切つていいべきと考える。そのためにも、ぜひ同事業の継続及び拡充に努めていただきたい。

◎議員 格率は平成二十四年度が一〇〇%、平成二十五年度が九三%となっている。今年度から

普天間飛行場周辺 まちづくり事業の 進捗状況等について



◎議員 今年度と次年度の事業内容について伺いたい。

◎企画部長 平成二十六年度に平和祈念像原型の保存、展示方法の検討調査を行い、それをもとに、今年度は現状での記録保存、劣化調査、原型の養生計画、詳細な展示方法等の検討を行っている。また、次年度は普天満宮前の門前広場の測量業務や実施設計、物件調査等を行う予定で沖縄防

衛局と調整している。
◎議員 平和祈念像を初め、山田真山先生の作品を展示するための施設として、ぜひ山田ミュー・ジアムを整備していただきたい。また、以前に、門前広場にモニメントの設置を提言したが、その後どのように検討されたか。

◎企画部長 次年度、門前広場の実施設計等の中で、関係者や防衛局と調整の上、設置の可能性を探ってまいりたい。

◎議員 琉球国王普天満御参詣のモニュメントを設置し、ほかにはないオンラインのまちづくりをお願いしたい。

消防体制の強化について



◎議員 本市の救急出動件数の推移についてお伺いしたい。

◎消防長 平成七年の救急出動件数六百五十五件に対し、平成二十六年は三千八百九十

三件と、二・三五倍に増加している。

◎議員 出動件数がふえることによる懸念事項についてもお聞きしたい。

◎消防長 出動件数の増加に伴い、現場到着までの時間が強化に努めていただきたい。

が懸念される。現在、通報から五分以内の現場到着を目指しているが、平成二十六年は六分三十秒と、到着時間は毎年伸びている状況である。

◎議員 そのような中、今後消防体制をどのように強化していくのかお聞きしたい。

◎消防長 次年度、職員三名の増員を予定しているほか、予備救急車の更新により、現在の救急車三台体制から四台体制の運用に向けて調査、研究してまいりたい。

◎議員 現場到着五分以内の目標達成に向け、消防体制の強化に努めていただきたい。



地面の凹凸により車両の破損が懸念される市民広場駐車場

市民広場駐車場の整備について



◎議員 市民広場駐車場は、地面の凹凸が激しく、車両が破損する恐れがあるため、早急に整備していただきたい。

◎企画部長 次年度、門前広場の実施設計等の中で、関係者や防衛局と調整の上、設置の可能性を探ってまいりたい。

◎議員 琉球国王普天満御参詣のモニュメントを設置し、ほかにはないオンラインのまちづくりをお願いしたい。

◎総務部長 アスファルト部分と土の部分との境目の段差解消や、凹凸の激しい場所の舗装等、段階的な整備に向

用することもできると考えるが、いかがか。

◎企画部長 関係部署と調整用することもできると考えるが、いかがか。

◎議員 しっかりと予算を確保し、ぜひ整備に取り組んでいただきたい。

国道330号のバス停留所の整備と交通安全について



◎議員 中部商業高校前の国道三三〇号は改良工事に加え、琉球大学へ通じる市道もあり、大渋滞している。バス停車帯を整備し、交通の利便性を

図つていただきたいが、管轄の南部国道事務所からは、それについて情報を受けているのか伺いたい。

◎建設部長 改良工事においてバス停車帯を両側に設置するとの情報を受けている。

◎議員 未整備箇所へのバス停車帯の設置も南部国道事務所へ要請してはいかがか。

◎建設部長 平成二十二年十一月に一部バス停車帯の設置要請を行っている。南部国道事務所としてもバス停車帯の必要性は認識しているものの、早期事業化は厳しいとの回答を受けている。

◎議員 これを機会に再度要請してはいかがか。

◎建設部長 交通安全や渋滞緩和の必要性の高さから、今後、南部国道事務所と協議を行ってまいりたい。

小中学校におけるがん教育の取り組みについて



◎議員 がんに関する教育の目的について伺いたい。

◎指導部長 一つ目に、がんを正しく理解すること。二つ目に、健康と命の大切さについて主体的に考えることを目的としている。

◎議員 がん教育の実施に当たっての課題を伺いたい。

◎指導部長 発達の段階に応じた指導方法や学校の教育活動全体で推進していくことが

や取り組みについて伺いたい。また、段階的にがん教育の推進を図るとともに、がん検診の重要性まで理解を広げた授業改善に努めてまいりたい。

重要なため、わかりやすい教材の作成、外部講師の確保、教職員に対する研修等が今後の課題として予想される。また、身近にがん患者がいる、身内をがんで亡くした児童生徒のことも推察し、学校での実態把握と心情に配慮した指導も必要と考えている。



早急な安全対策が求められる宜野湾区内の交差点

仮設避難港周辺整備計画について	
◎議員 比嘉憲康議員	当該計画に係る今後の取り組みについて伺いたい。
◎企画部長	過年度までに行つた官民連携スキームによる事業化に向け、仮設避難港を核としたPFI事業の可能性の検討を行うと同時に、民間企業の進出意向の把握調査を行っている。
◎議員 空港からのアクセス道路として、浦添市と宜野湾バイパスを結ぶ（仮称）浦添	

仮設避難港周辺整備計画について



北道路は、平成三十年度に供用開始予定と聞いているが、開通に当たっては宜野湾バイパスの混雑が予想される。以前にも、宜野湾バイパス中央の分離帯や両側の変則的な分離帯を見直し、六車線にするなど、車の通行がスマートになるような整備を提言したが、その後の取り組みを伺いたい。

◎建設部長 西海岸道路の整備状況を踏まえ、車線数の変更が必要な場合には、所管する南部国道事務所で、適切に対応されるものと考えている。

◎議員 ゼビ、何度も要請し、取り組んでいただきたい。



道路改良工事の完成が望まれる普天間3区喜友名線交差点

◎議員 市道宜野湾四号、六号、七号は宜野湾十一号から迂回する車両で日中交通量が多く、歩行者にとって非常に危険な道路である。平成二十四年より継続的に要望しているが、道路管理者や地域関係者、教育委員会等で点検を行い、優先順位を決めて実施してまいりたいとの答弁があつた。本員の中では一番危険な箇所と認識しており、早急な安全対策が求められる宜野湾区内の交差点

◎議員 今年度中に当該路線の安全対策が施されるということであり、工事の進捗等、未までには完成できるものと考へておる。

◎議員 今年度中に当該路線の安全対策が施されるということであり、工事の進捗等、未までには完成できるものと考へておる。

◎議員 火葬場建設について、中城村議会やマスコミでは白紙といった話も出ていたが、その説明をお願いしたい。

◎企画部長 中城村議会では財源確保が厳しいことを踏まえ、現計画をこれ以上進めることができ困難であるなどの議論がなされている。今後の進め方については、首長同士の協議を行い、その中で議論をしていく予定となっている。

◎議員 火葬場建設はとても重要であり、早目に結論を出します。研究してまいりたい。

◎議員 火葬場建設はとても重要であり、早目に結論を出します。研究してまいりたい。

◎議員 平成二十六年から現在までに行つた用地交渉の回数についてお聞きしたい。

◎議員 平成二十六年から現在までに行つた用地交渉の回数についてお聞きしたい。

◎建設部長 市報掲載の内容は、権利関係者の意向を踏まえ、検討してまいりたい。

◎議員 ゼビ、丁寧に対応していただきたい。

市道宜野湾4、6、7号の通学路カラー舗装化について



公共火葬場の建設について



普天間3区喜友名線交差点改良事業について



◎建設部長 平成二十六年度は八回、平成二十七年度は二十回の用地交渉を行っている。

◎議員 同交差点の用地交渉が難航した理由は、平成二年二十四年間、一度も用地交渉が行われていないからである。今回の用地交渉の中で、同事業に係る背景を市報に掲載するとのことだが、どのように考えているか。

辺野古への新基地建設について



◎議員 普天間基地の辺野古移設についてどうお考えか。

◎市長 一番優先すべき点は、固定化を絶対に避けることであり、一日も早い返還と危険性の除去、基地負担軽減を確実に前に進めるよう、日米両政府に要請してまいりたい。

◎議員 辺野古で座り込みを続ける八十六歳のおばあちゃんを抗議行動に駆り立てているのは、十五歳の時の悲惨な

◎議員 本市では、水道局と下水道課は別々の庁舎にあり、窓口も分かれているが、市民サービスの向上等を踏まえ、窓口の一本化は可能か、お伺いしたい。

◎水道事業管理者 組織統合については、行政診断でも指摘されており、平成三十年の組織統合を目指して、それぞれの担当部局で研究しているところである。

水道局と下水道課の統合及び水道事業の民間委託について



◎議員 行政診断での指摘のとおり、いずれ上下水道は統合されるものと考えている。そこで、統合に對して担当部局の所見をお伺いしたい。

◎水道事業管理者 行政改革を進めるためにも、上下水道を統合する時期を見据え、水道事業全般の民間委託等についても研究してまいりたい。

◎建設部長 組織統合については、水道局や総務部と連携し、進めてまいりたい。



平成27年4月1日付で社会福祉法人へ移譲された福寿園

福寿園の財産処分のあり方について



◎議員 福寿園無償譲渡により市民に四億七千万円の不利益を与えたとのチラシを拝見したが、実際、市民にどの程度の不利益を与えたのか。

◎健康推進部長 建物を有償譲渡する場合は、厚生労働省所管一般会計補助金等に係る財産処分承認基準により、譲渡額の約六七%を国・県に返納することになる。また、土地については、最低譲渡価格

◎議員 その実現に向けて取り組んでまいりたい。

◎議員 その実現に向けて、地負担軽減等の実現に向け取り組んでまいりたい。

◎議員 チラシには全容解説のため住民監査請求を行うとともに、請求はなされたのか。

◎健康推進部長 当該請求については、把握していない。

◎副市長 四億七千万円の不利益を与えたとのチラシは、市民に不安を与えるものであり、行政としても相手方に確認を行った上で、住民監査請求に対する今後の対応を検討してまいりたい。

普天間小学校通学路の安全対策及び整備について



◎議員 同基地の早期閉鎖、返還及び危険性の除去についてどのような手法をお考えか。

◎市長 国に対して二〇一九年二月までの運用停止を確実に履行することや、具体的な内容の協議の場をスタートするよう要請している。

◎議員 市長を初め、四十一町村長が署名をし、政府に要請した閉鎖・撤去を求める考にしながら、市民サービスの向上を目的とし、ぜひ組織統合等を進めていただきたい。

米軍普天間基地の閉鎖・返還及び危険性の除去について



◎議員 同基地の早期閉鎖、返還及び危険性の除去についてどのような手法をお考えか。

◎市長 国に対して二〇一九年二月までの運用停止を確実に履行することや、具体的な内容の協議の場をスタートするよう要請している。

◎議員 公約や辺野古移設の質問に対する答弁になつてない。固定化阻止と言つならば、直ちに運用停止、閉鎖を求めていただきたい。

◎議員 同小学校通学路で交通安全指導にかかる地域の方々の人数をお聞きしたい。

◎指導部長 保護者二名、老人会を含め、地域の方々が二十名となっている。

◎議員 朝の挨拶を初め、ボランティアで朝の交通安全指導を行っている市民の皆様方に謝を申し上げたい。次に、市内小学校周辺の歩道のカラーリングを検討していただきたい。

◎建設部長 通学路合同点検箇所も未整備箇所から漏れてるので、ぜひ点検を行い、整備を検討していただきたい。

◎議員 しっかりと検証、検討していただきたい。

舗装について、普天間第二小学校や普天間小学校等はまだ整備がされておらず、しっかりと安全対策を行つていただきたいが、いかがか。

◎議員 桃原 功 議員
自衛隊からの依頼を受け、ことし十七歳から二十歳までの九千九百人分の個人情報を、本人の同意も得ずに提供したことは個人情報保護法等に抵触しないか。

◎市民経済部長 今回の依頼は法令に基づくものであり、市個人情報保護条例第八条第二項に基づき提供している。また、本人の同意に関して、個人情報の保護に関する法律第二条で、個人情報取扱事業者から国や市町村が除かれており、本人の同意は必要ないとの規定になつてている。

◎議員 同様に名簿提供を行つた沖縄市では説明を行い、謝罪もしている。同意も得ずに提供した名簿の対象者に対してお詫びすべきではないか。

◎市長 今後は、他市町村の対応状況や市民の御意見も考慮の上、対応してまいりたい。

◎議員 しっかりと反省をして、市政運営に努めてほしい。



井上一徳沖縄防衛局長へ要請する市議団

◎議員 桃原 功 議員
自衛隊からの依頼を受け、ことし十七歳から二十歳までの九千九百人分の個人情報を、本人の同意も得ずに提供したことは個人情報保護法等に抵触しないか。

◎市民経済部長 今回の依頼は法令に基づくものであり、市個人情報保護条例第八条第二項に基づき提供している。また、本人の同意に関して、個人情報の保護に関する法律第二条で、個人情報取扱事業者から国や市町村が除かれており、本人の同意は必要ないとの規定になつてている。

◎議員 同様に名簿提供を行つた沖縄市では説明を行い、謝罪もしている。同意も得ずに提供した名簿の対象者に対してお詫びすべきではないか。

◎市長 今後は、他市町村の対応状況や市民の御意見も考慮の上、対応してまいりたい。

◎議員 しっかりと反省をして、市政運営に努めてほしい。



災害時用として公園ベンチに収納された防災器具

議員からは、騒音防止協定遵守のチェック体制や防音工事区域の拡大、基地被害の苦情受付（フリーダイヤル）の設置等について要請がなされ、沖縄防衛局長からは、騒音被害への対応については本省レベルでの取り組みをお願いしております、また、苦情受付についても検討してまいりたいとの回答がなされた。



学校へのICT環境整備・活用事業等(東京都豊島区)

市議会定例会の生放送を開始しました！

◆宜野湾市議会定例会の模様がケーブルテレビにて生放送開始◆

市民の皆様に議会をもっと身近に感じていただきため、12月3日（木）に開会した第394回宜野湾市議会定例会から議会の生放送を開始しました。

ご覧になるには、沖縄ケーブルネットワーク株との契約が必要になります。詳しくは沖縄ケーブルネットワーク株までお問い合わせください。

【詳細】

チャンネル 地デジ092c h (O C Nチャンネル4)
放送時間 定例会（3月、6月、9月、12月）の午前10時～
放送開始時期 第394回宜野湾市議会定例会（12月3日開会）から
放送内容 宜野湾市議会定例会

◆各自治会へ宜野湾市議会定例会の動画配信を開始しました◆

市議会定例会の模様は、12月3日から各自治会でもパソコンにてご覧いただけるようになりました。詳細につきましては最寄りの自治会までお問い合わせください。

問い合わせ：議会事務局 098-893-4411 内線337、340
 問い合わせ：沖縄ケーブルネットワーク株 0120-98-4141

自衛隊の求めに応じて個人情報を提供した件について



桃原 功 議員

米軍機による騒音被害の軽減等を求める決議・意見書

音問題の激化を受け、十一月十三日の臨時会で「普天間飛行場の一も早い閉鎖・返還とMVR-22オスプレイの移駐及び騒音被害の軽減に対する決議及び意見書」が、全会一致でそれぞれ可決され、臨時会終了後、在沖米海兵隊政務外交部長や沖縄防衛局長等に直接抗議、要請を行つた。

経済建設常任委員会の所管事務調査	
成二十七年十月二十八日から三十日の間、県外において所管事務調査を実施した。大阪府箕面市では公園のベンチ等に収納された防災器具を災害時に地域住民が活用する「地域防災ステーション事業」、兵庫県立粒子線医療センターでは「施設の概要について」、兵庫県神戸市では研究機関や大学、病院、企業等が連携する「神戸医療産業都市」について、それぞれ調査を行つた。	平成二十七年十月二十八日から三十日の間、県外において所管事務調査を実施した。大阪府箕面市では公園のベンチ等に収納された防災器具を災害時に地域住民が活用する「地域防災ステーション事業」、兵庫県立粒子線医療センターでは「施設の概要について」、兵庫県神戸市では研究機関や大学、病院、企業等が連携する「神戸医療産業都市」について、それぞれ調査を行つた。
長野県松本市では、「健康寿命延伸都市・松本の取り組みについて」、東京都豊島区では、「学校へのICT環境整備・活用事業、スクールソーシャルワーカー活用事業」、東京都町田市では、「認知症施策について」、それぞれ調査を行つた。	長野県松本市では、「健康寿命延伸都市・松本の取り組みについて」、東京都豊島区では、「学校へのICT環境整備・活用事業、スクールソーシャルワーカー活用事業」、東京都町田市では、「認知症施策について」、それぞれ調査を行つた。

福祉教育常任委員会の所管事務調査

福祉教育常任委員会の所管事務調査	
成二十七年十一月十六日から十八日の間、県外において所管事務調査を実施した。長野県松本市では、「健康寿命延伸都市・松本の取り組みについて」、東京都豊島区では、「学校へのICT環境整備・活用事業、スクールソーシャルワーカー活用事業」、東京都町田市では、「認知症施策について」、それぞれ調査を行つた。	成二十七年十一月十六日から十八日の間、県外において所管事務調査を実施した。長野県松本市では、「健康寿命延伸都市・松本の取り組みについて」、東京都豊島区では、「学校へのICT環境整備・活用事業、スクールソーシャルワーカー活用事業」、東京都町田市では、「認知症施策について」、それぞれ調査を行つた。
学校へのICT環境整備・活用事業等(東京都豊島区)	学校へのICT環境整備・活用事業等(東京都豊島区)

市議会の活動状況（平成27年分）

1. 定例会・臨時会の開催等について

区分	会期日数	本会議日数	一般質問日数			質問者数	傍聴人数
			会期中	閉会中	合計		
定例会	3月定例会	29日間	15日間	6日間	24人	72人	
	6月定例会	19日間	8日間	5日間	20人	37人	
	9月定例会	22日間	8日間	5日間	22人	34人	
	12月定例会	19日間	8日間	5日間	19人	44人	
	小計	4回	89日間	39日間	21日間	85人	187人
	臨時会	3回	3日間	3日間			2人
年間合計		7回	92日間	42日間	21日間	85人	189人

2. 各委員会の会議日数等について

委員会名	内訳	委員数	委員会開催日数		
			会期中	閉会中	合計
総務常任委員会		10人	11日間	4日間	15日間
経済建設常任委員会		7人	14日間	1日間	15日間
福祉教育常任委員会		8人	11日間	2日間	13日間
議会運営委員会		10人	22日間	6日間	28日間
基地関係特別委員会		10人	2日間	8日間	10日間
議会改革に関する調査特別委員会		10人	7日間	21日間	28日間
全員協議会		26人	4日間	0日間	4日間
各派代表者会議			3日間	5日間	8日間
			合計	74日間	47日間
					121日間

第394回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	件 名	議決結果
議案 第64号	平成27年度宜野湾市一般会計補正予算（第3号）	原案可決（賛成多数）
議案 第65号	平成27年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全会一致）
議案 第66号	平成27年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議案 第67号	平成27年度宜野湾都市計画字地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議案 第68号	平成27年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議案 第69号	平成27年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議案 第70号	平成27年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議案 第71号	平成27年度宜野湾市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案 第72号	宜野湾市職員退職手当基金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案 第73号	宜野湾市職員定数条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案 第74号	宜野湾市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	原案可決（賛成多数）
議案 第75号	宜野湾市税条例等の一部を改正する条例について	原案可決（賛成多数）
議案 第76号	宜野湾市勤労青少年ホームの設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案 第77号	宜野湾市保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決（賛成多数）
議案 第78号	宜野湾市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案 第79号	宜野湾市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案 第80号	宜野湾市介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決（賛成多数）
議案 第81号	宜野湾市景観条例の制定について	原案可決（全会一致）
議案 第82号	宜野湾市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案 第83号	宜野湾市土地開発基金条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案 第84号	新設学校給食センター新築工事（建築）請負契約について	同 意（全会一致）
議案 第85号	新設学校給食センター新築工事（機械設備）請負契約について	同 意（全会一致）
議案 第86号	宜野湾市シルバーワークプラザの指定管理者の指定について	同 意（全会一致）
議案 第87号	宜野湾市立野嵩保育所建物の処分について	同 意（賛成多数）
議案 第88号	宜野湾市老人福祉センターの指定管理者の指定について	同 意（全会一致）
議案 第89号	下水道施設における事故に関する和解等について	同 意（全会一致）
議案 第90号	沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の変更について	原案可決（全会一致）
議案 第91号	長田地区コミュニティ供用施設・児童館新築工事（建築）請負契約について	同 意（全会一致）
認定 第1号	平成26年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定（賛成多数）
認定 第2号	平成26年度宜野湾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
認定 第6号	平成26年度宜野湾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
決議案第7号	飲酒運転根絶に関する宣言決議	原案可決（全会一致）
陳情 第12号	平成27年度福祉施策及び予算の充実について	審議未了
陳情 第32号	中小商工業者への施策を拡充し「住宅リフォーム助成制度」の制定を求める陳情	閉会中の継続審査
陳情 第33号	健康で文化的な最低限度の生活を保障する立場で「生活保護基準引き下げ」「住宅扶助、冬季加算の引き下げ」中止を求める陳情	閉会中の継続審査
陳情 第34号	平成28年度福祉施策及び予算の充実について	閉会中の継続審査
陳情 第35号	監査委員の税理士登用方について	閉会中の継続審査
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第10号 期日前投票所を大規模集客施設へ設置することについて 陳情第19号 個人住民税（市町村民税）に係る特定寄付金対象施設の指定に関する要望 陳情第25号 伊佐市営住宅跡地の有効利用について 陳情第30号 外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情 陳情第35号 監査委員の税理士登用方について	承 認 (総務常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第13号 耐震診断費用の自己負担軽減について 陳情第17号 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書（決議）の採択を求める陳情 陳情第32号 中小商工業者への施策を拡充し「住宅リフォーム助成制度」の制定を求める陳情	承 認 (経済建設常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第6号 幼稚園教育の制度改善について 陳情第7号 「幼稚園・就学前教育」義務教育化・無償化の早期実現を求める陳情 陳情第8号 「義務教育費国庫負担」堅持及び2分の1復元を求める陳情 陳情第16号 受動喫煙防止条例の制定等受動喫煙防止諸施策の強化を求める陳情 陳情第22号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情 陳情第23号 子宮頸がんワクチン接種後の副反応被害の早期解決を求める要請 陳情第33号 健康で文化的な最低限度の生活を保障する立場で「生活保護基準引き下げ」「住宅扶助、冬季加算の引き下げ」中止を求める陳情 陳情第34号 平成28年度福祉施策及び予算の充実について	承 認 (福祉教育常任委員会)

第393回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果

事件番号	件 名	議決結果
報告 第17号	交通事故による和解等に関する専決処分の報告について	報 告
決議案第6号	普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還とMV-22オスプレイの移駐及び騒音被害の軽減に対する決議	原案可決（全会一致）
意見書第13号	普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還とMV-22オスプレイの移駐及び騒音被害の軽減に関する意見書	原案可決（全会一致）